

# ICTを活用した授業の在り方 — つながり、深まる学びの実現

自らの実践を分析！

筑北村立聖南中学校 中村淳志

## 研究の背景と目的

- ・ 端末と学ぶ生徒
- ・ 安易なコピーの姿
- ・ 厳しいルールによる管理



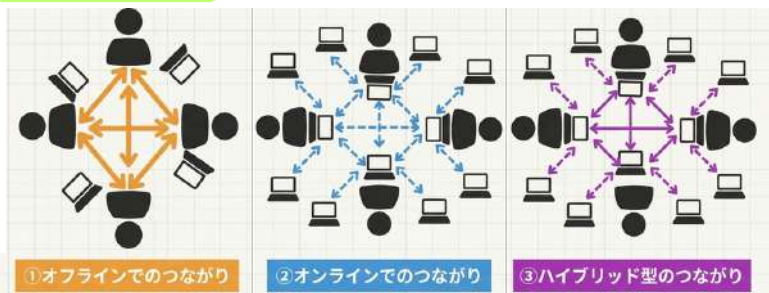
目指す姿

- ・ 生徒同士がつながり、学びを深めたい
- ・ 学びやすい環境を整え、伸び伸び学んでほしい

どのように活用すればよいか？

## 3つのつながり

・ ICTの利用を3つに分類して分析



## 授業実践と分析

### ① オフラインでのつながり

**ねらい**：発表や議論など、生徒同士の直接的な関わりを通じて、理解と思考を深める。

**効果**：文房具をICTツールに置き換えることで、視覚的な表現や直感的な操作が可能になり、生徒の主体性が引き出される。

ロイロノートを活用した  
都道府県のランキング予想



動かして、  
話す。  
さらに動かす



「愛知県はトヨタがあるから  
1位でしょ」  
「長野県ってそんなに上？  
なんて？」

### ② オンラインでのつながり

**ねらい**：オンライン上での即時的な交流で多様な意見に触れ、思考を広げる。

**効果**：発言に対する心理的ハードルが下がることで全員参加が実現できる。また、情報処理の得意、不得意な生徒によって「牽引と追随」が生まれ、つながりを生む。

Padletで命の誕生  
について意見交換



考え、書いて  
一斉に一覧。  
その後議論



「『使わない』人の方がこんなに  
多いの？」  
「なんでこう考えたの？」  
じっとシートを見つめる生徒も

### ③ ハイブリッド型でのつながり

**ねらい**：オンラインでの「思考の拡張」と、オフライン（対面）での「思考の深化」の両方を同時に実現する。

**効果**：同時編集機能で全生徒の思考をオンライン上で可視化・共有し、それを基盤として対面での直接的な話し合いを展開できる。

CANVAで個人活動～グループ活動  
～全体共有を1つのシートで展開



考え、書いて  
議論。  
もう一度考える



「〇〇って考える人と話してみたい。」  
「□□さんは自分と同じ考えだ」  
「話してみたら考えが変わった」

## 考察① 生徒の姿から見えた「直接関わりたい」

- ・ KAHOOT! で友と学ぶ生徒たちの姿。
- ・ 全体共有で、グループを越えて議論を始める生徒。

生徒に  
委ねたら...

いろんな人と  
話してみよう

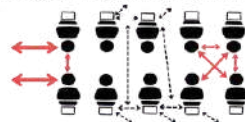
全員の意見を  
じっくり見て  
みよう



## 生徒がつながり方を自ら選択

とことん議論して  
考えをぶつけ  
てみよう

先生の考えを聞  
いてみよう



## 考察② ICTを活用した授業の在り方（必要だと感じる教師の心構え）

- ・ 伸び伸びと学ぶ環境整備：「一人にならない」授業形態・思考を止めない工夫など
- ・ インクルーシブ（全員が参加できる）：ICTの簡便な活用・画面の整理
- ・ 教師のファシリテーション：ツールの選択・直接的な支援